

平成 29 年度 事業報告並びに決算報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

平成 29 年度 事 業 報 告

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

1. 視聴覚障害者の日常生活の支援及び生活支援の援助者養成

(1) 手話放送番組の制作支援

「NNNニュースサンデー」に出演する手話通訳士の派遣事業。当該番組は、毎週日曜午前 6 時 15 分～6 時 30 分まで全国放送のニュース番組。手話通訳を画面右下にワイプで挿入している。本年度も東京都聴覚障害者連盟から推薦を受けた 4 名の手話通訳士が、交互に年間 52 回の手話放送に携わり、聴覚障害者の方々への情報サービスの一助となってきた。

(2) 点字カレンダーの製作及び無料配布

この点字カレンダーは月ごとに美しい写真を付ける事によって晴眼者と視覚障害者とのコミュニケーションを促進する願いが込められている。平成 29 年版は「日本の城」をテーマに 2 万部を製作。日本点字図書館の協力で、全国盲学校、盲人施設、盲人福祉関係団体、在宅盲人に無料配布した。また、日本テレビ系列局の協力を得て、全国各地で別途 2 万部余りの無料配布も行った。

(点字製作：日本点字図書館 写真撮影：岩本圭介氏 デザイン：神馬俊二氏)

(3) 手話スクールの開講と手話の普及事業

手話スクールの開講

手話ができる人を増やし、聴覚障害者への生活支援に貢献してもらうことを目的としている。初級・中級の 2 年制で毎週土曜日（1 年生 13:20～14:50、2 年生 15:00～16:30）、年間 27 回開講した。

会場：弘済会館(四ツ谷)

講師： 朝倉 ^{のぶひろ} 靖裕

助手： 安田 育子、堀 ^{ひろし} 浩司

生徒数： 1年生 39名、 2年生 29名 ※平成30年3月31日現在

24時間テレビへの協力

手話スクールの手話コーラス部員7名が8月26～27日の「24時間テレビ」に出演し日本武道館のステージに立ったほか、手話通訳士6名が、聴覚障害者の来場に対応するための手話通訳ボランティアとして協力した。

(4) 視覚障害者に向けてのラジオからの情報発信

視覚障害者に役立つ情報や、晴眼者にとっても有益な情報を発信するラジオ番組

「小鳩の愛」の放送を始めて4年が経過した。

日曜の朝7時5分から15分番組で、ラジオ日本と富山県をカバーする北日本放送、KNBラジオでも放送されている。

視覚障がい者と一緒に楽しめるイベントとして、盲目のバイオリニスト「和波たかよし」さんの生演奏会を、青梅の盲老人ホーム「聖明園」で開催。60分のラジオ特別番組として、11月4日20時からラジオ日本で放送した。

2. 視聴覚障害者を支援する団体への助成

(1) 角膜移植・再生医療への助成

助成先：移植・再生医療を支える会

視覚障害者治療に貢献することを目的に、複数の大学病院の角膜移植・再生医療・iPS細胞研究及びアイバンクに助成を行った。

(2) 聴覚障害児の学校への助成

助成先：学校法人日本聾話学校

下記日程で開催された日本聾話学校の夏期学校への助成。耳の不自由な児童生徒にとって、親元から離れて過ごす団体生活は心身の鍛練と秩序ある団体生活の貴重な体験であり、一般社会への順応訓練になった。

○幼稚部

6月29日(木)～6月30日(金) 1泊2日 大地沢青少年センター(町田市相原町)

参加人数：生徒13名、教師7名 計20名

○小学部生徒

7月5日(水)～7月7日(金) 2泊3日 群馬県利根郡片品村東小川(シャレー丸沼)

参加人数：生徒32名、教師9名 計41名

○中学部生徒

7月12日(水)～7月14日(金) 2泊3日

長野県南佐久郡川上村秋山(せせらぎの里町田市自然休暇村)

参加人数：生徒13名、教師7名 計20名

(3) 視覚障害者福祉DVDの製作及び生活支援活動への助成

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

- ・ボランティア指導用DVD「共に生きる」視覚障がい者の読書日本点字図書館の活動
- ・下記福祉講演会出張費への助成(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

NO	開催日	用務地・内容	対象者	内容	備考
1	H29 6/9 ～ 6/10	(大阪市) 全国就労支援ネットワーク	職員・障害者・ ボランティア	福祉講演 ・映画	ガイドブック 配布
2	H29 6/22 ～ 6/23	(岐阜市) 日本盲人社会福祉施設連絡 会	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃
3	H29 7/7 ～ 7/9	(広島市) 就労移行支援事業所タウン ミーティング	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃

4	H29 7/27 ～ 7/29	(神戸市) 能力開発施設連絡会	職員・障害者・ ボランティア 学生	〃	〃
---	--------------------------	--------------------	-------------------------	---	---

- ・福祉映画利用相談及び貸出諸費への助成
- ・貸出ビデオ更新費への助成

(4) 「盲人との接し方」ガイドブックの製作への助成

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

小冊子「盲人に接する人々のために」は視覚障害者との接し方をイラストを交えて分かりやすく解説したもの。1万部を製作し、視覚障害者の福祉講演会や映画会会場のほか、都道府県・市町村役場の福祉課にも配布した。

(5) 点字技能検定事業への助成

助成先：日本盲人社会福祉施設協議会

日本盲人社会福祉施設協議会の主催する点字技能検定事業に助成した。全国の点字技術学習者たちに点字技能検定を受ける機会を提供し、点字の普及と質の向上を図り、視覚障害者に的確な情報を提供することを目的としている。検定試験は東京、大阪、札幌で行われた。

(6) 視覚障害者ケア専門技術認定講習会への助成

助成先：全国盲老人福祉施設連絡協議会

平成29年8月1日（火）～4日（金）に都内で開催された第11回視覚障害者ケア専門技術認定講習会への助成。この講習会は全国の各種老人ホームの職員や在宅福祉に携わるヘルパー等を対象に、視覚障害者に対する専門的なケア技術の向上を目的に開催された。

(7) その他の助成

- ・聾者の団体が主催する野球大会に優勝・準優勝・最優秀投手賞楯を贈呈

助成先：神奈川県ろう社会人軟式野球連盟

全日本ろう社会人軟式野球連盟

- ・視覚障害者のテニス大会に助成

助成先：日本ブラインドテニス連盟

- ・チャリティ映画会開催に助成（映画のチケット購入）

助成先：日本点字図書館、日本聾話学校

- ・本間一夫文化賞に助成（記念品代）

助成先：日本点字図書館

- ・東京都盲人福祉大会に助成

助成先：東京都盲人福祉協会

- ・視覚障害者むけ「本の朗読」録音に助成

助成先：日本民放クラブ

- ・失明原因の解明と失明予防・知識の普及と啓発を図る

助成先：日本失明予防協会

- ・東京都社会福祉協議会関係会費

助成先：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

3. 文化及び芸術に関する各種の公演、講座等

(1) グランプリ・コンサート 2017 (公財) 日本室内楽振興財団と共催

第9回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門優勝団体を招聘。全国9箇所の公演のうち東京公演を主催した。優勝した「アイズリ・クアルテット」は4人のうち2人が日本人の演奏者。日本点字図書館の協力で、視覚障がい者を招待。普段生で演奏を聴くことが少ない方は、特に感激していた。

開催日： 平成 29 年 11 月 23 日（木） 会場： トッパンホール

入場者数： 295 名

（2）第 11 回 想いでの詩コンサート 益城町公演 主催

楽曲の持つ美しい詩を通じて、自然の美しさや人々の絆を伝えるコンサート。叙情歌や童謡を中心に、世代やジャンルを超えて将来も歌い継いでほしい曲で構成した。昨年に引き続き「声」と「華」を併せ持つソプラノ歌手・家田紀子が出演。その他実力派の声楽家や少年少女合唱団の演奏を交え豪華な演奏会となった。一部は季節の移ろい、幼いころの思い出に迫る曲、二部は復興ソング「花は咲く」を益城中学吹奏楽部の演奏と、FCT 郡山少年少女合唱団の歌声が会場を感動に包んだ。また、想いでの詩コンサートから派生するスクールコンサートを関東の公立小中学校 3 校で無料開催した。

「熊本県益城町被災地支援公演」

開催日： 平成 29 年 11 月 26 日（日） 会場： 益城町文化会館

入場者： 430 名（無料招待）

（3）聲明公演 主催

日本音楽の源流といわれる「聲明」を日本の伝統文化と捉え、次代に継承することを目的としたコンサート。「天台聲明 七聲會」とピアノ、フルート、バイオリン、オーボエなど西洋楽器が共演した。第一部は、「朝題目に夕念仏」をテーマに七聲会の聲明だけの舞台、第二部は、「密教」の世界を、西洋音楽とのコラボレーションで表現し華やかな舞台となった。

開催日： 平成 30 年 1 月 13 日（土） 会場： 浜離宮朝日ホール

入場者数： 495 名

(4) 親子で楽しむ〜つうコンサート 無料公演

不朽の名作「オペラ夕鶴」のハイライトで綴るコンサート。作品は民話「鶴女房」をもとにしたもので、「人として大切なものは何か」を考えさせるものである。次代を担う子供たちと保護者が同じ作品を鑑賞し、共に考えるきっかけになることを願って開催した。本公演は芸術性の高い内容を子供たちにも分かりやすくするため、序幕でイラストとナレーションを加える演出を行った。愛媛県八幡浜市、広島県大崎上島町の二か所で開催。地元の小学生がプロのオペラ歌手と共演した。芸術が届きにくい地域での開催も本公演の目的である。

開催日：平成29年7月30日（日） 会場：八幡浜市文化会館

平成29年8月27日（日） 会場：大崎上島文化センター

入場者：八幡浜300名 大崎上島130名 入場無料

(5) 言葉の寺子屋〜中学生から大人までの俳句塾（第8期） 主催

俳句を通じて日本語への関心と日本語能力を高めると同時に、四季の情景を楽しむ感性を育むことを目指す通年講座。全ての季節の季語を用いて全受講生がそれぞれに100句以上の句を詠んだ。また、年齢の大きく違う者同士がお互いの句について論じ合い、新鮮な驚きや発見を共有することができた。1年間の講座を終え、言葉への関心が高まったことや、季節や自然を身近に感じ生活が豊かになったなどの感想が寄せられた。4年前より始めた「吟行」を今期も11月11日（土）に行った。限られた時間の中で作句することに苦勞もあるが、実力がついてきていることを実感できる良い機会となった。

年間講座回数：20回（隔週土曜、14:30～16:30） 会場：弘済会館4階

講師：榎未知子氏 受講者数：28名（14歳～75歳）※平成29年3月31日現在

4. 文化及び芸術に関する事業、活動への助成

(1) 「高円宮杯全日本中学校英語弁論大会」に対する助成

助成先：日本学生協会基金

国際性豊かな青少年を育てるため、国際語である英語を熟達させ国際親善に寄与することを目的とする上記大会への助成。各都道府県で行われた予選には約 10 万人の中学生が参加した。

(2) 在日外国人を対象にした日本語普及活動への助成

助成先：公益社団法人国際日本語普及協会

日本語教育を通じて文化を異にする人々の交流と相互理解の促進を目指す上記財団の諸活動への助成。日本に住む外国人のための日本語学習教材の開発や、日本語教師を育成する研修会の開催、各地域で在住外国人を支援する方々からの相談受付などを行った。